

第二期実施計画評価結果一覧（令和3年度実績）

中柱評価の結果

施策の柱						K P I					
計画目標 に対する有効性		K P Iの 妥当性		次年度に 向けて		計画目標・施策の柱 に対する有効性		次年度に 向けて		施策の項目 の方向性	
有効	7	適切（追加）	0	追加	0	共に有効	15	追加	0	追加	0
		適切（継続）	7	継続推進	7	計画目標に有効	0	継続推進	15	継続推進	15
要改善	0	見直し	0	要改善	0	施策の柱に有効	0	要改善	0	要改善	0
無効	0	廃止	0	廃止	0	無効	0	廃止	0	廃止	0
合計	7	合計	7	合計	7	合計	15	合計	15	合計	15

	施策の柱の状況			K P Iの状況			意見
	計画の目標 に対する有効性	K P Iの 妥当性	次年度に 向けて	計画の目標・施策の柱に 対する有効性	次年度に 向けて	施策の項目 の方向性	
(1)減量化の推進	有効	適切（継続）	継続推進				
家庭系ごみに含まれる可燃ごみの割合				共に有効	継続推進	継続推進	
事業系可燃ごみの排出量				共に有効	継続推進	継続推進	
(2)資源化の推進	有効	適切（継続）	継続推進				
家庭系ごみに含まれる資源ごみの割合				共に有効	継続推進	継続推進	
事業系ごみの資源化量				共に有効	継続推進	継続推進	
(3)最終処分量の削減	有効	適切（継続）	継続推進				
年間最終処分量				共に有効	継続推進	継続推進	
(4)住民、事業者、行政の協働	有効	適切（継続）	継続推進				
家庭系ごみに含まれる可燃ごみの割合				共に有効	継続推進	継続推進	
事業系可燃ごみの排出量				共に有効	継続推進	継続推進	
家庭系ごみに含まれる資源ごみの割合				共に有効	継続推進	継続推進	
事業系ごみの資源化量				共に有効	継続推進	継続推進	
(5)広域処理施設の整備・活用促進	有効	適切（継続）	継続推進				
適正な処理規模検討施設数				共に有効	継続推進	継続推進	
(6)適正な施設配置及び施設運営	有効	適切（継続）	継続推進				
適正な施設配置・運営検討施設数				共に有効	継続推進	継続推進	
(7)ごみ処理経費の抑制	有効	適切（継続）	継続推進				
総排出量				共に有効	継続推進	継続推進	
総資源化量				共に有効	継続推進	継続推進	
処理及び維持管理費				共に有効	継続推進	継続推進	
広域化による二酸化炭素排出量				共に有効	継続推進	継続推進	
評価の補足：なし							

小柱評価

施策の項目					具体的施策				
施策の柱・KPI に対する有効性		次年度に 向けて		具体的施策の 方向性		施策の項目 に対する有効性		次年度に 向けて	
共に有効	13	追加	0	追加	0	有効	27		
施策の柱に有効	0	継続推進	13	継続推進	13			継続推進	27
KPIに有効	0	要改善	0	要改善	0			要改善	0
無効	0	廃止	0	廃止	0	無効	0		
合計	13	合計	13	合計	13	合計	27	合計	27

	施策の項目の状況			具体的施策の状況		意見
	施策の柱・KPI に対する有効性	次年度に 向けて	具体的施策 の方向性	施策の項目 に対する有効性	次年度に 向けて	
(1)-1)家庭系ごみの排出抑制	共に有効	継続推進	継続推進			
(ア)厨芥類の発生・排出抑制の推進				有効	継続推進	
(イ)家庭系ごみの有料化等の研究				有効	継続推進	
(ウ)戸別収集のあり方の研究				有効	継続推進	
(1)-2)事業系ごみの排出抑制	共に有効	継続推進	継続推進			
(ア)事業系地域循環共生圏の推進				有効	継続推進	
(イ)多量排出事業者への指導				有効	継続推進	
(ウ)事業系ごみの処理手数料の見直しやルールづくり等				有効	継続推進	
(2)-1)資源化品目の充実	共に有効	継続推進	継続推進			
(ア)資源化品目数の維持				有効	継続推進	
(イ)資源化品目の質及び量の維持・向上				有効	継続推進	
(ウ)容器包装リサイクルシステムの推進				有効	継続推進	
(2)-2)処理残渣の資源化	共に有効	継続推進	継続推進			
(ア)焼却残渣（焼却灰等）の資源化				有効	継続推進	
(イ)施設処理残渣の資源化の検討				有効	継続推進	
(2)-3)分別排出の徹底	共に有効	継続推進	継続推進			
(ア)最適な分別区分の確立				有効	継続推進	
(イ)適正な分別の普及啓発と指導				有効	継続推進	
(ウ)ごみ減量化・資源化協力制度の推進				有効	継続推進	
(3)-1)処理残渣の有効活用	共に有効	継続推進	継続推進			
(ア)埋立するごみの見直し				有効	継続推進	
(イ)焼却残渣（焼却灰等）の資源化【再掲】				有効	継続推進	
(ウ)不燃物処理施設の整備				有効	継続推進	
(4)-1)住民、事業者、行政の役割分担	共に有効	継続推進	継続推進			
(ア)住民、事業者、行政の役割意識の向上				有効	継続推進	
(5)-1)広域処理施設の整備促進	共に有効	継続推進	継続推進			
(ア)法令順守・自主基準値の設定				有効	継続推進	
(イ)適正な処理規模の設定				有効	継続推進	
(5)-2)既存施設の活用促進	共に有効	継続推進	継続推進			
(ア)熱エネルギーや余熱の継続活用と温室効果ガスの排出抑制の研究				有効	継続推進	
(イ)資源化による生成物の有効利用促進				有効	継続推進	
(6)-1)適正な施設配置の促進	共に有効	継続推進	継続推進			
(ア)公平な施設分担				有効	継続推進	
(6)-2)適正な施設運営の継続	共に有効	継続推進	継続推進			
(ア)公平な費用負担				有効	継続推進	
(イ)民間活力の活用（PFI等）				有効	継続推進	
(7)-1)最適な広域処理システムの推進	共に有効	継続推進	継続推進			
(ア)VFMによる判断や処理効率の向上				有効	継続推進	
(7)-2)効率的な輸送体制の確立	共に有効	継続推進	継続推進			
(ア)効率的なごみの輸送				有効	継続推進	
評価の補足：なし						